木場小だより



令和8年10月29日

発行

校長　吉田　亜紀

教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく 未来の創り手となる児童の育成

木場小キャラクターキバシカ

ねじまき集会（10／1）



1学期の6年生の授業のデモンストレーションに続き、今回は5年生からの提案でした。「シンねじまきタイム」の「シン」の意味を低学年にもわかりやすく説明していました。「シン」は「進」と「深」を意味しています。授業の主役は自分達だから自分達で進めていくの「進」、みんなで対話することで、自分や全体の考えをより深いものにしていく「深」です。集会を受け、各学級で「シンねじまきタイム」の目標を決め、それに向けて取り組んでいきます。

大杉みどりの里　合宿（10／15～16）



5，6年生全員が、気持ちの良い秋晴れの空の下、大杉の自然の中で様々な活動をすることができました。子ども達はみどりの里でのルールを守り、グループや個人のめあてを達成すべく、声を掛け合いながら活動することができました。楽しむときには思い切り楽しむ、きちんと最後までやらなければならないことはしっかり取り組むなど、めりはりのある行動はとても立派でさわやかなものでした。寝食を共にすることで、友の新たな良さや頑張り等にも気づけたことと思います。今回の経験やつかんだことを今後の生活にいかしてほしいと思います。

児童発表会（10／20）



符津小学校に、木場小学校と日末小学校の3，4年生が集まり、児童発表会を行いました。木場小学校は、「みんなの木場潟　～わたしたちにできること～」と題して、木場潟に生息している生き物、水質、植物についてグループごとに調べたこと、体験したことをまとめ、クイズなどを交えながら発表しました。そして木場潟の環境を守るために、自分たちが何をしていけばよいのかを伝えることができました。符津小は木場潟のステキな所を、日末小はいちごのひみつを発表しました。各々の学校の発表に学ぶところがありました。最後には感想交流があり、木場小の4年生は全員手を挙げていました。すばらしい！木場潟やその周辺の自然について調べたり、体験したりする中で、星の城プロジェクトのみなさんに大変お世話になりました。本当にありがとうございます。